

2022 年度 伊豆急ケーブルネットワーク 第13回 番組審議会 議事録

日 時:2023年3月6日(月) 10:00～11:30

場 所:株式会社伊豆急ケーブルネットワーク本社事務所 会議室

番組審議会 出席者

委員:磯川義幸 委員(会長)、富岡篤美 委員(副会長)、杉山修 委員、
西島光章 委員、平田小百合 委員、浅見 和明委員 (岩上 由美子 委員は欠席)

事務局:・比企恒裕(代表取締役兼コンテンツ事業部長)、佐藤功次郎(コンテンツ事業部 副部長)、橋辺淳(コミュニティチャンネルチームリーダー)、大川裕(コミュニティチャンネルチーム課長補佐)、関 茉林、林桃子

議題

- (1) 前年度審議番組についての振り返り(反映報告)
- (2) 対象番組についての審議
- (3) 新たな番組制作の取り組みについて報告
- (4) 挨拶/今後のサービスなどについて (佐藤副部長)

議事内容

(1)前年度審議対象番組についての振り返り(反映報告)

番組名 地域ど密着バラエティ

「YOU YOU 湯河原」

「あつあつあたみ」

「THIS IS ITO」

「みらっしえ東伊豆」

(各 15分番組)

・ご意見 (YOUYOU 湯河原)

画面に出ている番組ロゴはもう少し小さくしたらどうか

こどもたちに話を聞く時に名前のテロップを出すと良いのでは。

- ・反 映 年配の視聴者にもロゴで番組を区別していただきたく、ロゴの大きさを判断しています。他のテロップとのバランスを考慮し最適化していきます。名前のテロップについては、個人情報保護の観点から、露出を控える傾向にあるため、許可をいただいた場合のみ掲出しております。

- ・ご意見（あつあつあたみ）

会話の時の BGM が大きいと感じた

英語の店名などカタカナ表記があるとよい

- ・反 映 インタビューや会話など、声を聴かせる場面は、BGMを抑えるなど工夫しております。わかり難いものにはテロップを入れるなど、目でも理解いただけるよう工夫しております。

- ・ご意見（THIS is ITO）

パート2など続く場合は、次回予告などあるとよいのではないかな。

話を聞きたい場面は BGM をなくしてもよいのではないかな。

- ・反 映 次回に続く企画を放送する場合は、視聴者が続きを期待できるような予告を取り入れてまいります。
BGM に関しては、より会話を聞き取りやすくするよう、音量調整等配慮し、BGM の必要のない場面では省くなど配慮しております。

- ・ご意見（みらっしえ東伊豆）

取材場所がわかるテロップなや地図などを出すとより分かりやすいのでは。

BGM の他に効果音も活用してはどうか。

- ・反 映 場所を特定できるような情報や地図などできる限り掲載するよう努めています。BGM や効果音、またテロップ含め、番組を引き立たせ、邪魔にならないよう配慮しながら制作しています。

（2）審議対象番組についてのご意見

審議対象番組	「地域ど密着バラエティ」（各 15 分）	4 篇
	「YOU YOU 湯河原」	「あつあつあたみ」
	「THIS IS ITO」	「みらっしえ東伊豆」

磯川会長

・あつあつ：今回、リポーターがほとんど出なかった。あいぞめ珈琲店の取り組みについては、出演者にもっと深くインタビューしてもらいたかった。視聴者目線にたった質問やインタビューがあった方がいいと思う。リポーターの質問や受け答えで面白くなる重要な役割なので、各地域工夫をして頑張してほしい。

YOUYOU：コロナ禍の後、インタビューであった「健康であること、一日一日無事に過ごせれば」というコメントが、今の時代の中で深みのあってよかった。年の初めのレポートなので、コロナ禍が落ち着き、アフターコロナとして「今年数年ぶりのこのイベントが復活する」という情報もどんどん出していてもいいのではないか。インタビューの様子から、リポーターが何度も湯河原に入って行ったという積み重ねが感じられ、密着度が伝わってきた。

あつあつ：知らない人の為に、あいぞめ珈琲店のアクセス方法などもあるといいのでは。伊豆山、打撃を受けた地域の後押しができるような企画を考えてもらいたい。
みらっしゅ：飲食店に限らず、他業種の取材をしていくのもいいのではないか。取材した先から次の取材先を紹介してもらうのも一つのやり方。夜の町が静かになっているが、活気を取り戻す企画を考えるのもいいと思う。

平田委員

YOUYOU：新年にふさわしい番組でよかった。会場もほのぼのした雰囲気でもよかった。BGMがなく、声をダイレクトにきけて聞きやすかった。
取材交渉から紹介しており、番組を作る大変さが伝わってきた。

あつあつ：説明中にBGMが被って聞きづらいところがあった。
きれいな着物なのに色が鮮明にでなかった。「着物ショー」なので色を活かせる工夫があるとさらによいと思う。
珈琲店にどんなメニューがあるのかも少し紹介してほしい。
店内のトークの音声がかもっていて聞き取りづらかった。

THIS IS：場所のテロップずっと入っているとよりよい。「駅からすぐ」など場所の詳しい情報があると行きやすい。BGMがなくダイレクトに現場のイベントの音が聞こえて、臨場感あってよかった。番組途中から見た人にもわかりやすいテロップの工夫をするとさらによい。

みらっしえ：場所がわかりやすくなるように、お店の周辺を映すなど工夫してほしい。
映像だけでいいので店内の様子やメニューも少し映してもらいたい。
エンディングがロパクだが、声が聞きたい。
インタビューの時、周囲のノイズなど影響のない場所で撮影した方がよい。

西島委員

YOUYOU：インタビューされた方の、「昨日と同じでいられれば」という言葉は深みがあるなと感じた。珍しい言い方などあった場合は、テロップなどで説明を入れるとわかりやすいと思う。
あつあつ熱海：ネタが2本あり、全体駆けで内容を詰め込みすぎている印象。ゆっくり内容を見せてもいいのではないかな。

THIS IS：おもしろいイベントだった。もう少し高い位置から撮影してみるとより臨場感があるのではないかな。

みらっしえ：「お魚料理・お肉料理があります」だけでもいいので、メニューをもう少し、紹介してもらえるとうれしい。熱川ポークを頼んだのはなぜかをレポート時に説明するといい。（食べた後ではなく、食べる前にあるとよい）

杉山委員

みらっしえ：熱川ポークを調理しているところや、農場にお邪魔して育てている様子を紹介するとさらによい。

THIS IS：最初少し内容がわからなかった。イベントの内容やせりのルールなど、どういうイベントかを最初に説明があるとわかりやすいと思う。

あつあつ：着物イベントは撮影の時に、着物を着付けしているところが見えづらかったので、みえやすく撮る工夫をするといい。

YOUYOU：どんど焼きの模様などイベントの様子ももっと映してもらいたい。

富岡副会長

イベントを紹介するのか、人を紹介するのか、お店のメニューを紹介するのか。
人柄なら人柄、メニューならメニューなど、メインを絞った方が、内容がぼやけなくていい。

だいたい番組で、インタビューの時は、30 秒のインタビューあれば、顔が出ているのは 10 秒程度で、その間にお店の映像やメニューなどの映像が入るものが多い。長いインタビューの場合には、他の情報を映像で挟むと飽きないのではないかな。

イベント紹介では、会場全体が俯瞰で見える画があるといいのではないかな。

あつあつ：主催者インタビューもきけるとよい。

あいぞめ珈琲店は、「なぜそこでイベントをやっているか」を、出演者だけのトークではなく、視聴者の代表としてリポーターにインタビューしてほしかった。掘り下げて内容を紹介してほしい。

西島委員

あつあつ：熱海ではたらく人が縁によってむすばれていくというコンセプト。二人の会話を見て、改めて自分たちの住む町のよさとリスペクトを感じた。

若い人に喜んでもらえるような番組作りをしていくのもよいのではないかな。

富岡副会長

いちばん気にしているのは音声。音声はその時しっかりとれていないとアウト。

音がきれいに入っていない時、テロップを入れたりして補っているところ多い印象だが、生の声がきちんと視聴者に聞こえるようにする方がよい。撮影の時の周囲の環境などの配慮を。生の音をいかにきれいに拾うか。活舌や話し方の速度なども影響もあるが、極力現場で音声をクリアに収録する工夫を。

—その他ご意見・ご質問

磯川会長

インタビュアー、出演者の方のマスクについて。

時節柄仕方ないが、表情や口の動きがわかりづらい。

マスクはこれから、どういう形でいつごろとる予定かな？

→比企：外したいと思っているが、相手のある話でもあるので、状況を鑑みて検討。

杉山委員：マスクはない方がいい、番組の冒頭でテロップで注意喚起するなどして極力外してもよいのではないかな。

急に外すのが難しければ、リポーターはクリアのマスクを使うなど。顔が見える形で工夫したらよいのではないかな。

→磯川会長：マスクについては、会社としての判断必要。マスクなしの方向に向けて。

（リポーターは会社側の判断／相手側は相手側に委ねる）

浅見委員

・伊豆東海岸、コロナで大きな打撃を受けた。でもそのなかでも頑張っているという状況、どうやって乗り越えてきたのか、というドキュメンタリー番組など、アフターコロナを示すひとつとしてやってもらいたい。

・みきまま とても大好きな番組。いろんなテレビで、人の深い話・人生を聞き出す番組などもあるが、そういった内容の番組も見たい。みきまま復活してほしい。

→比企：コロナ禍で休止した番組。制作にあたって、出演者を長時間拘束してしまう側面もあるが、気楽に出てもらえるような番組として今後検討できれば。従来のみきまま制作については、「とって出し」といいつつ編集にこだわってしまう部分があったので、やり方については見直しも考慮しながら、前向きに検討したい。

→橋辺：みきままについてはお客様や社内からも、また放送しないのかという意見もある。時間と労力と他の番組とのバランスを鑑みながら検討したい。

→比企

ドキュメンタリー的な番組。メディアとしての意志を持って作る番組もつくりたいと思っている。熱海の再生、民間から始まる再生、若い方が移住して、地元の人とすりあわせながら取り組む姿など、地元の人・首都圏の人にも発信したい。

伊豆山の復興については、行政とのかかわりも鑑みつつ、発信していければ。

コロナ禍での取り組みや、ドキュメンタリー番組など、意志をもって作る番組は作りたい。

富岡副会長：旅館のにぎわいなど、場所場所で、その当時の町の様子など記録していく、ということもしてほしい。

→比企：「伊豆のあけぼの」など、古い映像、地元の映像喜んでいただける。

過去のライブラリー、アーカイブから、過去のものそのまま流すのもいいのでは？当事者の人は懐かしくみられるのでは。

富岡副会長

時間と人財は限られているが、目線を変えるだけで面白くなるので。着眼点も工夫して制作していつてもらいたい。

→比企：あつあつ「あいぞめ珈琲」はリポーターなしでトークするというのは自分が指示したところもある。カメラマン都合つかなくてもリポーター一人でもいければと考えている。リポートだけでなく、カメラもやる。内容やクオリティが多少おちてもたくさん取材にいけるようにという方針で考えている。

(3) 新たな番組制作の取り組みについて報告

・SS伊豆(仮)15分番組予定

…地元伊豆のサッカーチームの紹介番組

・ジモトグルメ熱海湯河原(仮)

…4月放送開始を目標にすすめている

(4) 新事業サービスについて(佐藤)

4月より、熱海・湯河原地域で光サービスを開始。

7月から伊東・10月から東伊豆エリアで光サービス開始予定。

目的

① 現在老朽化している同軸ケーブルを整備する

② 通信速度、通信料のアップ(地域最速10ギガインターネット)

サポートの部分を実費にするプランを中心にサービス。(高齢者の方多いエリアの為)

2～3年かけて光サービスを整える予定

現在、テレビは自分の好きな番組・好きな時に自分の端末で見ている

→コミチャンが一番のキラーコンテンツになると考えている

「自分の知っている人や自分自身が自宅のテレビでみられる」喜びを届けたい。

以 上